

別紙

I. 事業評価総括表

(単位 円)

番号	措置名	補助事業の名称	補助事業者名 (間接補助事業者名)	補助事業に要した費用	補助金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業その1	大野市	9,551,850	8,446,000	
2	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業その2	大野市	4,356,450	3,608,000	
3	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業その3	大野市	4,897,200	3,854,000	
4	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	水路整備事業	大野市	17,183,250	16,400,000	
5	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	和泉簡易水道施設改良事業	大野市	13,382,250	11,644,000	
6	地域活性化措置	和泉保育園維持運営事業	大野市	19,259,918	17,886,000	
7	地域活性化措置	大野市図書館維持運営事業	大野市	16,984,680	15,636,000	

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		舗装補修事業その1	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	大野市稲郷地係(市道稲郷西線)			
補助事業の概要	損傷の激しい市道の舗装補修 施工延長 L=330.3m 表層工 A=2,740㎡ 不陸整正工 A=2,740㎡ 区画線設置工 一式 取壊し工 一式			
総事業費(円)	9,551,850	補助金充当額(円)	8,446,000	
補助事業の成果 および評価	舗装の劣化が激しい市道を整備したことにより、道路利用者の通行の安全を確保することができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	舗装補修(工事)	一般競争入札	有限会社稲木組	9,551,850
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
特に予定なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措 置 名		補助事業名	
2	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		舗装補修事業その2	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	大野市富塚地係（市道尚徳中塚原線）			
補助事業の概要	損傷の激しい市道の舗装補修 施工延長 L=184.4m 表層工 A=1,140㎡ 不陸整正工 A=1,140㎡ 区画線設置工 一式 取壊し工 一式			
総事業費(円)	4,356,450	補助金充当額(円)	3,608,000	
補助事業の成果 および評価	舗装の劣化が激しい市道を整備したことにより、道路利用者の通行の安全を確保することができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	舗装補修(工事)	一般競争入札	株式会社大幸建設	4,356,450
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
特に予定なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
3	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		舗装補修事業その3	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	大野市篠座地係(市道春日野千歳木本線)			
補助事業の概要	損傷の激しい市道の舗装補修 施工延長 L=252.5m 表層工 A=1,250m ² 不陸整正工 A=1,250m ² 区画線設置工 一式 取壊し工 一式			
総事業費(円)	4,897,200	補助金充当額(円)	3,854,000	
補助事業の成果 および評価	舗装の劣化が激しい市道を整備したことにより、道路利用者の通行の安全を確保することができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	舗装補修(工事)	一般競争入札	株式会社建世	4,897,200
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
特に予定なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
4	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		水路整備事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	大野市朝日地係(宮ノ谷川)			
補助事業の概要	集中豪雨により氾濫する水路の整備 施工延長 L=84.9m 水路工(ブロック積)L=35.5m、(ボックスカルバート)L=5.0m			
総事業費(円)	17,183,250	補助金充当額(円)	16,400,000	
補助事業の成果および評価	水路の整備を行い、洪水時の流下能力の確保を図ることができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	水路整備(工事)	一般競争入札	株式会社長崎組	17,183,250
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
平成23年度から順次水路整備を行い平成27年度に完了予定である。				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
5	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		和泉簡易水道施設改良事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	大野市角野地係			
補助事業の概要	水質と水量に問題がある朝日地区の水道水源の整備 機械設備 一式 電気設備 一式 送水管 φ75 L=391.9m			
総事業費(円)	13,382,250	補助金充当額(円)	11,644,000	
補助事業の成果 および評価	平成22年度に井戸と取水ピットを整備し、平成23年度に機械設備・電気設備・送水管を整備したことで、安定した水源が確保された。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	取水施設(工事)	一般競争入札	有限会社乾川設備工業	7,042,350
	取水施設(工事)	一般競争入札	株式会社千田商会	6,339,900
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
特に予定なし				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
6	地域活性化措置		和泉保育園維持運営事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	社会福祉施設(和泉保育園)			
補助事業の概要	大野市和泉保育園の健全な運営維持運営に係る人件費 4人分			
総事業費(円)	19,259,918	補助金充当額(円)	17,866,000	
補助事業の成果および評価	大野市和泉保育園の健全な運営により、乳幼児を心身ともに健やかに育成することができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
心身ともに健やかな子どもを育成するためには、継続的に健全な運営を行う必要がある。				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
7	地域活性化措置		大野市図書館維持運営事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	教育文化施設(大野市図書館)			
補助事業の概要	大野市図書館の健全な運営 維持運営に係る人件費 3人分			
総事業費(円)	16,984,680	補助金充当額(円)	15,636,000	
補助事業の成果 および評価	大野市図書館の健全な維持運営を行うことにより、読書による「こころ豊かな教育のまち」の実現を図ることができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
読書による「こころ豊かな教育のまち」の実現を図るため、継続的に健全な運営を行う必要がある。				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。